

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向け取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	35	利用者の身体的状況から訓練については職員の模擬となりがちである。地域の協力を得て利用者参加の上、定期的に行いたい。	利用者の安全を確保し、迅速に屋外に誘導すること。又、備蓄品に対して、より考慮する。	複合施設であるので、他の施設職員・地域住民・消防署等の指導を仰ぎ避難訓練の実施につとめる。	6ヶ月
2	49	入居者のレベル低下に伴い、外出の機会等が少なくなりがちである。	今以上に外出支援を行い、生活の張り合いや喜び、気分転換につなげる。	日頃、本人の希望を把握し、地域密着を目的としてボランティア活動を活かし、今以上に外出機会を増やす。 プライバシーにも十分気をつける。	6ヶ月
3	33	終末期ケアについては職員も認識を高めているが、現在の条件下では他の入居者の事も考え十分なケアには不安が残る。	早く取り組みが出来るように条件整備を検討する。	引き続き、体制づくりに家族・設置者・医療機関等で検討・話し合いをおこなっていく。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目の を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。